

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑦「意味あるもの?」と「そうでないもの?」、その「混在?」が「今」を創る?!

I：気がつけば、とうとう7月に入り込んでしまいました!この年(令和2年)も、既に半分が過ぎたこととなりますが、そのうちのほとんどが、「コロナ禍」とともに過ぎ去ったように感じます!しかも、何が克服され、何が残っているのか?まだまだ見通しの無いままに、月日が過ぎ去っている?!

D：そうですね!こんなことが、本当に起こるのだな(起きてはいけない?)と、今でも信じられないのですが、社会・経済生活の混乱は想像以上のものがありますね?!まあ、これについては、多分?、我が国では、何とか最悪の事態は免れていると言えそうですが(ただし、今後、それもどうなるかは分からない?しかも、いわゆる「緊急事態宣言」解除後は、かなり怪しいものともなっている?)?!

I：さて、そんな中で、これも、そのコロナ禍からの派生ですが、その対策が、結果として、「意味あるもの?」と「そうでないもの?」に分かれていった?そんな気がしているのですが、どう思いますか?例えば、例の「PCR検査」ですが、要は、それを(沢山?)やっても、やらなくても、結果は同じであった?しかも、それは、それなりに成功したということでもある?!

D：さあ、それは、どうでしょうかねえ?そもそもそれは、(沢山?)やった方がよかったですでしょうが、それがやれなかったから、そうした(せざるを得なかった?)?!結果的に、(沢山?)やらなくてもよかったです?!そういう論理(後付け?)になっているのではないのでしょうか?!

I：そう言われれば、そのようにも思いますが、言いたいことは、この人間社会では、どんな分野でもそうだと思いますが、「意味あるもの?」と「そうでないもの?」に分かれていってしまう?しかし、それらは、実際上は、歴然と判別できるものではなく、まさに混在しており、しかも、多くは、状況次第(結果オーライ?)で、その評価が決まる?それが何とも、恨めしい?そういうことです!

D：ある意味、それは、人間社会の宿命?ということでしょうか、その存続のためには、そうした二分法的な受け止め方、判断(決断?)が必要だということでしょうかね?!それが、「知恵」でもある?!

I：よく、「この世には、意味のないものなぞ何一つない!」、そういうことが言われますが、実際は、そのようには感じられない?しかも、そうしたことを考えていない人達も、現実には一杯いる?!

D：私も、実は、そのように思っている(言っている)人間の一人なのですが、それは、ある意味願望(ある種の反省?)であって、「現実上は、そうではない?!」と、心のどこかでは思っている?!

I：とにかく、その判断は、基本的には身勝手な?個々人に委ねられることとなり、その個々人が、何が意味があって、何がそうでないかの判断をする?不平不満、批判や文句ばかりの人もいます?したがって、それは、ほとんど混沌であって、收拾がつかない?!

D：だけど、ある特別な場合(絶対に、何らかの決断をしなければならない時)は、そこに、組織や集団の、責任ある(誠実な?)リーダーの裁断がなされる(「緊急事態宣言」の発出とか!)!とは言え、実は、彼らも、その個々人の一人でもあるわけなので、その意味で(法律や立場上の責任だけでなく!)、その人の生き方や価値観が、大きな影響力(決定力)をもつ?そういうことにもなる?!

I：それが、首相(or 大統領)であったり、地方自治体の長であったりということですね!しかも、そういう人達を、少なくとも形の上では、他の個々人(国民/住民)が選出している!それがうまくいけばいいのですが、そうでない場合は、目を覆う惨状ともなる?!

D：結局、それが、「意味あるもの?」と「そうでないもの?」の混在の現実ということになると思いますが、その判断(決断?)を、誰が、どのように行うのか?しかも、本当は、この世には、意味のないものはない(いない)!そういうことですが、あることにおいては(具体的な解決が求められる場合には)、そこが峻別されてくる?そういうことかもしれませんね? (つづく)